

令和2年12月号

さいたま支部通信



〒330-0853 埼玉県さいたま市大宮区錦町682番地2 JACK大宮
さいたま市宇宙劇場内事務局（齊藤・小田・佐々木・椎原）

TEL:048-647-0011 FAX:048-647-0066
<http://www.ucyugekijo.jp/>

【12月の活動予定】

活 動 日	場 所・時刻	活 動 内 容 等
集 合 「武川駅」秩父鉄道 9：45 または 12月 天神公園 10：10 6日 (日) は、公園でなくグラン ド先のスペースへ 解 散：13：30頃 中止の場合、前日にHP	○自然観察会『川本の河原で化石の観察をしよう』長靴の用意 ペガサス 今回は、荒川の中流の河川敷で貝などの化石の採集を行います。かなりハードです。(風が強 く寒い。) また、遠方なので保護者の付き添いをお願いします。  (熊谷発9時21分に乗車すると武川駅に9時40分着) ※持ち物：弁当、水筒、交通費、新聞紙、スーパーの袋、ゴム 手袋、敷物、ハンマー、たがね(マイナスドライバー) (秩父鉄道、ICカードは使用できません) 服 装：長そで、長ズボン、防寒着、着替え、長靴 ※申し込みは、12月1日(火)までに (電話か LINE で)。	
12月 宇宙劇場5階 12日 第1、第2集会室 (土) 14：00 ※保護者控室 研修室	○リーダー主催活動「サイエンスショー&お楽しみ会」 さいたま市青少年宇宙科学館、金子先生のサイエンスショーやリーダーによるゲームなどの 「お楽しみ会」を計画しております。楽しいプレゼントも用意してあります。お楽しみに。 ※申し込みは、12月6日(日)～12月10日(木)までに (電話またはLINEにて)。	

※コロナの感染状況等で、活動が中止になることがあります。YACのHPを活動前に必ずご覧ください。

☆「プログラミングをしてミッションを成功させよう！」 科学工作

11月22日(日)、団員16名が参加してプログラミング(高学年以上)が行われました。

最初に指導者の中村先生からミッションの説明がありました。今回のミッションは「人が操作することとプログラミングして操作することの違いを体験する」でした。



まずは、プログラミングキット「アピター」を使い、操作するマシンを組み立てました。
早くできた団員から、会場の後方でコン

トローラーを使いマシンを動かしていました。

マシンを操作し、コースを一周するという課題に沿って、まずはコントローラーでマシンを動かして、コースを一周します。各団員たちは、コントローラーを使い、楽しい動きを工夫していました。

その後、同じ動作をプログラミングして、マシンに送り、コースを一周させます。コントローラーでは簡単だった動きですが、プログラミングすると先々の動きまで予測し、プログラミングしなければいけないので苦戦していました。何度も試行錯誤しながら、少しずつコースを進めるようにプログラムを修正していき



最後に、中村先生からプログラミングの大切さについて教わりました。

HAYABUSA2のように、遠い宇宙を旅す

るマシンには、何十分も先の動きを予測して、命令を出さなければいけません。今回のように先々のことを予測しながら考えることが大きなミッションの成功には欠かせません。

今回、ご指導いただいた中村誠先生、ご支援いただいたリーダーの皆さんありがとうございました。

☆若田さん5度目の宇宙へ！

1月20日、宇宙航空研究開発機構（JAXA）からビッグニュースが飛び込んできた。宇宙飛行士の若田光一さんが2022年頃、国際宇宙ステーションに長期滞在



すると発表した。若田さんの飛行は5度目で日本人最多となる。おめでとう若田さん、コロナ禍

で大変厳しい中、夢に向かってチャレンジし続けている若田さん、ミッションを達成して無事の帰還を祈っています。

○宇宙飛行士募集 JAXA13年ぶり

宇宙航空研究開発機構（JAXA）と文部科学省は、20



21年秋頃に新たな宇宙飛行士の募集を開始すると発表した。13年ぶりの募集となる。記者会見した JAXA の特別参与の若田光一さんは「宇宙飛行士は、とてもやりがいのある仕事。国際宇宙ステーションから月探査という新しいステージに移る中、多くの人に興味を持っ

てもらい、若い人にぜひ月探査を目指してほしい」と呼びかけた。日本の宇宙飛行士は、現在7名いるが平均年齢が51歳とベテランが多い。そこで今回から5年に1回といった一定の頻度での募集に切り替えることにした。

日本は、アメリカ主導の月探査「アルテミス計画」への協力を決定しており、宇宙に飛行士を送るチャンスが新たに生まれた。文科省は、幅広い層からの応募を期待している。前回の応募条件は「日本国籍」「自然科学系の大学卒業以上」「研究などで3年以上の実務経験」など。

今後の月面探査では、様々な分野の宇宙飛行士が求められている。月面探査車の運転、地下水の探査といった地質の専門家、月面の基地づくり等、これまで以上の多様な人材が求められている。YAC のみなさんぜひ宇宙飛行士を目指してください。

☆科学館主催「宇宙のまち さいたま」

ワークショップに参加

1月21日（土）青少年宇宙科学館主催「宇宙のまち さいたま」に宇宙少年団も参加してきました。今回



は、科学館正門前で水ロケットの試射です。5, 4, 3, 2, 1とみんなでカウントして「シュー」と音を立



てて飛ぶ姿に参加者は「スゲー」「本物のロケットみたい」と喜んでいました。108名の方が試射に参加しました。

☆12月の星空カレンダー

- 8日 下弦
- 14日 ふたご座流星群極大
- 15日 新月
- 18日 水星が地球最遠
- 21日 冬至 木星と土星が大接近
- 22日 木星と土星が大接近
- 23日 こぐま座流星群極大
- 30日 満月

○12月のできごと

- ・1990年12月2日 秋山宇宙特派員がソユーズ TM11に搭乗、日本人で初めて宇宙へ
- ・1903年12月17日 ライト兄弟フライヤー1号で固定翼機による世界初の動力飛行に成功

令和3年1月の活動予定

- 1月 9日（土）天体観望会
- 23日（土）電子工作